

平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年9月26日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 セキチュー

コード番号 9976 URL <http://www.sekichu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関口 忠

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 金田 和宏

TEL 027-345-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年9月28日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年2月21日～平成24年8月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	18,929	△3.2	371	△51.4	526	△43.4	251	△30.8
24年2月期第2四半期	19,562	2.1	764	541.1	931	243.6	363	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	22.66	—
24年2月期第2四半期	32.66	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年2月期第2四半期	20,301		10,411		51.3
24年2月期	20,676		10,348		50.0

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 10,411百万円 24年2月期 10,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	0.4	600	△15.6	800	△22.9	350	2.8	31.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期2Q	11,172,300 株	24年2月期	11,172,300 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年2月期2Q	92,696 株	24年2月期	92,297 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期2Q	11,079,689 株	24年2月期2Q	11,115,887 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州債務危機に伴う海外経済の減速や長期化する円高、株式市場の低迷等が景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状況が続いております。

当ホームセンター業界におきましては、昨年の「震災」、「節電」、「地デジ」といった特需の反動減と天候不順が売上の減少に影響したほか、低価格のもとで異業種を含めた競争がさらに激化する非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社は、「チェンジ・チャレンジ・スピード・シンプルそしてチェック」をテーマに現場力強化に取り組み、「お客様に最も信頼される商品とサービスの提供」を通じて、お客様第一主義を実践してまいりました。

店舗政策におきましては、7月に当社の基幹店舗であるホームセンター高崎店(群馬県高崎市)に本年2月の資材館新設に続きDIY館を新設し、生活館、園芸館、リフォーム館の改装を行いました。また、この秋には、ホームセンター花園店(埼玉県深谷市)の生活館を拡張新設して、リニューアルオープンを予定しております。

商品部門別には、建築資材や金物、工具、植物、野菜等は堅調に推移いたしましたが、昨年の震災や節電、地上デジタル放送関連特需のあった日用品や家電、電材、自転車等は反動減が影響して不調となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高189億2千9百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業利益3億7千1百万円(同51.4%減)、経常利益5億2千6百万円(同43.4%減)、四半期純利益2億5千1百万円(同30.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度と比べ7億8千6百万円減少し、83億6千6百万円となりました。これは、現金及び預金が5億6千7百万円、たな卸資産が2億7千万円減少したこと等によります。

固定資産は、前事業年度と比べ4億1千2百万円増加し、119億3千5百万円となりました。これは、差入保証金が1億5千9百万円減少しましたが、有形固定資産が6億2千6百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度と比べ3億7千4百万円減少し、203億1百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度と比べ9億4千6百万円減少し、72億9千3百万円となりました。これは、買掛金が2億1百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億1百万円増加しましたが、短期借入金が10億円、未払法人税等が2億1千4百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度と比べ5億8百万円増加し、25億9千7百万円となりました。これは、長期借入金が5億9百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度と比べ4億3千7百万円減少し、98億9千万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度と比べ6千3百万円増加し、104億1千1百万円となりました。これは、利益剰余金が8千4百万円増加したこと等によります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ2億6千7百万円減少し9億5千8百万円となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因はつぎのとおりあります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、7億5千6百万円(前年同四半期比5億3千5百万円、41.4%減)となりました。これは、たな卸資産の減少額2億7千万円(前年同四半期は3億5千7百万円増加)がありましたが、税引前四半期純利益4億3千3百万円(前年同四半期比3億3千7百万円、43.8%減)、仕入債務の増加額2億1百万円(前年同四半期比2億6千7百万円、57.1%減)、法人税等の支払額3億9千1百万円(前年同四半期比3億6千8百万円増)があったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4億6千9百万円(前年同四半期比5千6百万円、10.8%減)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出8億8千2百万円(前年同四半期比4億7千8百万円、118.5%増)がありましたが、定期預金の預入による支出がなかった(前年同四半期は6億円預入)こと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億5千4百万円(前年同四半期比3億6千6百万円、195.8%増)となりました。これは、長期借入による収入9億円(前年同四半期比4億円、80.0%増)がありましたが、短期借入金金の純減額10億円があったこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績予想につきましては、平成24年4月3日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,125,123	1,558,076
売掛金	421,374	493,120
たな卸資産	6,085,779	5,815,030
その他	520,506	499,972
流動資産合計	9,152,783	8,366,200
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,820,016	2,800,836
土地	2,097,368	2,174,772
その他(純額)	804,294	1,372,875
有形固定資産合計	5,721,679	6,348,484
無形固定資産		
投資その他の資産	300,690	331,421
差入保証金	4,535,143	4,375,856
その他	1,204,434	1,159,262
貸倒引当金	△238,332	△279,361
投資その他の資産合計	5,501,245	5,255,758
固定資産合計	11,523,615	11,935,664
資産合計	20,676,399	20,301,864
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,333,656	5,535,019
短期借入金	1,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	456,734	558,384
未払法人税等	437,399	223,036
賞与引当金	72,785	78,011
賃借契約損失引当金	47,053	45,417
その他	892,129	853,316
流動負債合計	8,239,757	7,293,184
固定負債		
長期借入金	808,772	1,318,750
役員退職慰労引当金	575,428	592,240
賃借契約損失引当金	45,009	37,066
資産除去債務	230,713	235,876
その他	428,340	413,089
固定負債合計	2,088,262	2,597,022
負債合計	10,328,020	9,890,207

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,921,525	2,921,525
資本剰余金	3,558,349	3,558,349
利益剰余金	3,858,941	3,943,808
自己株式	△36,142	△36,318
株主資本合計	10,302,674	10,387,366
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	45,704	24,290
評価・換算差額等合計	45,704	24,290
純資産合計	10,348,379	10,411,656
負債純資産合計	20,676,399	20,301,864

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
売上高	19,562,516	18,929,292
売上原価	14,199,906	13,919,383
売上総利益	5,362,609	5,009,908
販売費及び一般管理費	4,598,125	4,638,663
営業利益	764,484	371,245
営業外収益		
受取利息	30,876	26,498
受取配当金	4,070	4,136
受取賃貸料	271,922	271,874
その他	83,639	57,340
営業外収益合計	390,508	359,849
営業外費用		
支払利息	10,719	8,343
賃貸収入原価	208,541	186,581
その他	4,326	9,410
営業外費用合計	223,587	204,335
経常利益	931,405	526,760
特別利益		
固定資産売却益	145	—
投資有価証券売却益	21	—
貸倒引当金戻入額	3,573	—
特別利益合計	3,740	—
特別損失		
固定資産除売却損	20,999	—
賃貸借契約解約損	1,466	—
減損損失	8,782	23,133
賃借契約損失引当金繰入額	39,280	29,531
貸倒引当金繰入額	—	40,488
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	93,657	—
特別損失合計	164,187	93,153
税引前四半期純利益	770,959	433,606
法人税、住民税及び事業税	410,399	181,473
法人税等調整額	△2,513	1,065
法人税等合計	407,886	182,538
四半期純利益	363,072	251,067

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	770,959	433,606
減価償却費	150,885	184,246
減損損失	8,782	23,133
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	93,657	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,489	41,029
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,161	5,226
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16,763	16,812
賃借契約損失引当金の増減額(△は減少)	34,844	△9,578
受取利息及び受取配当金	△34,946	△30,634
支払利息	10,719	8,343
固定資産除売却損益(△は益)	20,853	—
賃貸借契約解約損	1,466	—
売上債権の増減額(△は増加)	△55,756	△71,746
たな卸資産の増減額(△は増加)	△357,479	270,748
仕入債務の増減額(△は減少)	468,834	201,362
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	2,830	△4,228
その他	107,937	74,852
小計	1,261,023	1,143,171
利息及び配当金の受取額	11,821	11,463
利息の支払額	△8,010	△6,464
法人税等の支払額	△23,240	△391,606
法人税等の還付額	50,361	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,291,955	756,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600,000	—
定期預金の払戻による収入	310,360	300,000
有形固定資産の取得による支出	△404,041	△882,686
有形固定資産の売却による収入	165	—
投資有価証券の取得による支出	△3,325	△1,801
差入保証金の回収による収入	179,585	183,292
差入保証金の差入による支出	—	△4,399
その他	△8,806	△63,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526,062	△469,391

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△1,000,000
長期借入れによる収入	500,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△553,010	△288,372
自己株式の取得による支出	△23,146	△176
配当金の支払額	△111,219	△165,671
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187,375	△554,220
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	578,517	△267,047
現金及び現金同等物の期首残高	1,066,589	1,225,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,645,106	958,076

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社の報告セグメントは、ホームセンターのみであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前事業年度末と比較して著しい変動はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。